

# 希望の種

ふくおか  
NPOファイル

(13)

「ライフスキル」という言葉を聞いたことがありますか

? 直訳すると「命の技術」、世界保健機関(WHO)は、ライフケルを「日常の様々な問題や要求に対し、より建設的かつ効果的に対処するため必要不可欠な能力」と定義付けしています。今回ご紹

介するのは、そんなライフスキルを育てる最先端の教育プログラムを、フィリピン・ケソン市北東のパヤタス地区で研究・開発しようとしている「NPO法人ソルト・パヤタス」(篠栗町)です。事務局長兼理事である小川恵美子さん(45)が1995年に任意団体として設立し、2008年に法人化しました。

パヤタス地区は巨大なごみ集積場があり、多くの人がごみ拾いで生計を立てる貧困地

## ソルト・パヤタス

事務所=篠栗町△電話番号=092(980)1172  
メールアドレス=contact@saltpayatas.com



## 生き抜く力を教育で

う心理的傾向や行動パターンがあるようです。

ライフケル教育を必要としているのはフィリピンの貧困地域だけではありません。日本の高校生を対象とした「心と体の健康に関する調査」によると「自分を価値のある人間だと思わない」ところです。「安く」「手軽

本を通じて多様な世界に触れることがライフスキルにつながることがあります。

子どもたちが学校に通えるための奨学金支援を行っていま

すが、中等教育の卒業率は半分ほど。背景には経済的理由要なくなるのでは」と職を失つた女性に手芸品の生産を発注する事業を立ち上げました。現在は子どもが学ぶ機会をつくる事業にも取り組んでいます。

最新の課題は「中途退学」の低さ、あきらめやすさ、目の前

の現状に対しても、大きな希望となるでしょう。

です。

大学生の頃にフィリピンへ

の現地ツアーパートナーに参加し、社会

貧しい境遇はすぐに変えられませんが、なりたい姿や現

の他、家庭内暴力や薬物やアルコール等への依存、悪友から

の誘い、早期妊娠などによつて勉強に集中できない環境、「自己肯定感」「自己効力感」

ができると自分を信じる力」

ソルト・パヤタスは、寄付やJICAの業務委託制度を

活用して、現地に図書館を建

設するプロジェクトをスタートさせました。本を通じ多様な世界の価値観に触れるこ

と

トさせました。

「事業を展開しより良い社

会創りに貢献する、という面

では企業もNPOも同じ。ラ

イフスキル事業を成功させる

ことで、NPOは『社会を変え

るプロフェッショナルであ

る』というイメージを社会に

発信したい」と語る井上さん。

東京には、彼を信頼・応援し、

共に働く心強い20~30代のボ

ランティアスタッフが10人い

ます。ソルト・パヤタスの事

業内容は少しづつ変化してい

ます。幸教授らの力も借りて、本格

くしたい」と描く理想的のビジ

ョンは揺らぐこと無く、確か

に、若い世代に継承されてい

ます。

本を通じて多様な世界に触れることが

ライフスキルにつながる(=フィリピン)

教育活動へと育てるのが狙い

ます。

原則毎週月曜掲載